

**令和5年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業
地域日本語教育スタートアッププログラム 報告書**

団体名 NPO 法人芸術文化振興市民ネット新庄（都道府県：山形県）

1. 当該地域の情報（令和 5 年 12 月現在）

地域の課題	新庄市における外国人支援の動きは、ボランティア団体等や民間を事務局とした団体がそれぞれの目的に沿った個々の活動をしており、行政を含め、連携を図ったうえでの情報共有においては乏しく、近年、外国人労働者が増加傾向にある中で、長年変化がみられない現状である。 とくに日本語教室においては、新庄市だけでなく最上地域全体をみても僅か 2 カ所に留まっており、在住外国人数に対し学習者数は 1% と、県内でも圧倒的に低い地域である。 加えて、数年前から風水害といった自然災害の発生率も高まっており、在住外国人へのサポート体制の確立、またそれを行う人材の確保等を改めて検討し、外国人数の動きに対応する必要があると感じている。 また市では、インバウンド受入れも推進しており、これによる近隣町村への影響もあることから、最上地域全体での連携を図るためにも、まずは新庄市にて受け皿を整備する必要がある。
在住外国人数 外国人比率	【在住外国人数】428 人（市総人口 32,860 人） 【外国人比率】1.3%
在住外国人の状況	【主な国籍と人数】ベトナム 171 人、中国 45 人、フィリピン 40 人、韓国 32 人、インドネシア 29 人、ミャンマー 27 人、ラオス 26 人、タイ 21 人、カンボジア 10 人、ネパール 9 人 【在留資格】技能実習 221 人、永住者 90 人、特定技能 56 人、家族滞在 17 人、技術・人文知識・国際業務 13 人、教育 7 人、日本人の配偶者 7 人、特定活動 6 人、定住者 4 人、特別永住者 4 人 【滞在年数・在留期間などの状況】 技能実習生が増加し、全体の半数を超えている。永住者と比較するとその数は 2 倍以上になり、短期滞在型が多いことがわかる。
在住外国人の日本語教育の現状	新庄市の NPO 法人芸術文化振興市民ネット新庄が平成 21 年より日本語教室を運営。現在まで年平均 25 回、主に平日の夜間に教室を開催している。日本語教室は地域内でもこの 1 カ所のみで、新庄市が最上地域における生活の拠点を担っていることもあり、市内に住む外国人の他、半径約 20 km の近隣町村からも外国人が参加している。教室のきっかけが、農村への外国人配偶者を対象にはじめたという経緯があることから、現在でもこの教室は、在日 10 年以上の外国人配偶者が多数を占めており、日本語を学ぶという目的よりも、同じ境遇の者どうしの情報交換を主とする「サロン」としての意味合いが強いといえる。そのため、年々増加しつつある、技能実習をはじめとする在住外国人の学習ニーズに対応できていない。これからは「仕事で使える」「通院や公的な手続きの際に使える」など、暮らしの中で使える日本語を学ぶ教室の他、学ぶ向上心を損なわせない継続的な教室を整備し、各々のニーズに応えられる環境をつくる必要がある。最上地域の中核機関である新庄市が、先導的役割を果たすため行動をとることは当然であると考え。 また、時代とともに変化できなかった背景として、指導者不足や在住外国人の現状を把握する関係各所との連携がとれていなかった等の、サポート側の体制が整っていないことも大きな要因の一つであるといえる。新たな日本語教室開催を機に、そのサポート体制を確立するため、様々な関係機関が一体となった仕組みを構築することで、将来的にはまちづくりにつながるものと考え。

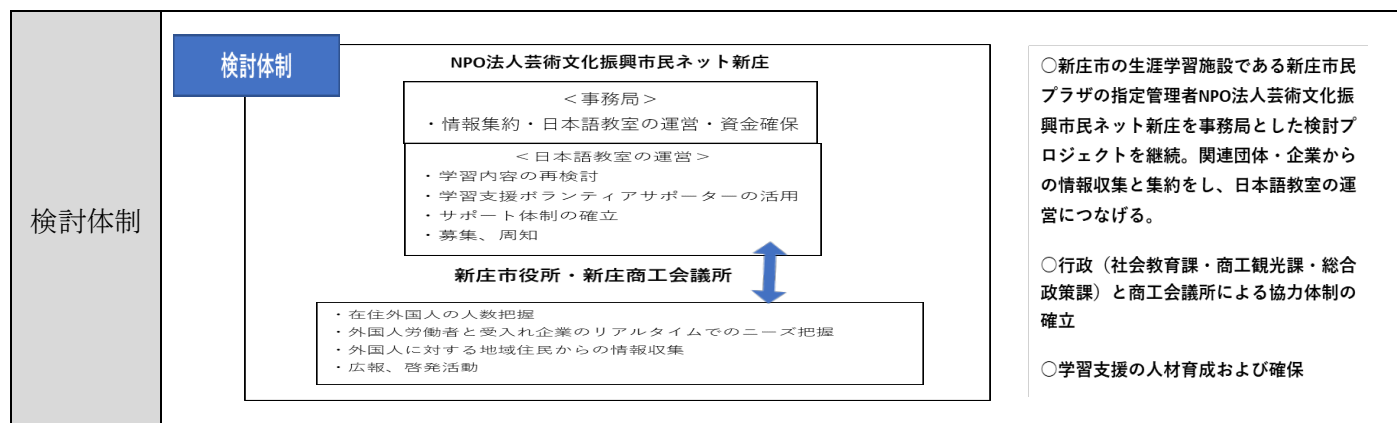
2. 事業の内容

本プログラム取組年数	3 年目
事業の目的	最上地域の中心地である新庄市における日本語教室の再検討ならびに再構築を図るため、外国人への日本語学習支援や生活支援人材の掘り起こしと育成を継続し、日本語を学びたい在住外国人のニーズに対応できるサポート体制を整備する。また、日本語教室を地域と在住外国人をつなぐツールの一つとすることで、交流会等の開催へと広げ、日本人と外国人のお互いのコミュニケーション力の向上を図る。さらに関係機関との連携を活用し、広報・啓発といった活動を行い、外国人との隔たりのないまちづくりを目指す。

事業の概要	新庄市における日本語教室を、1年目・2年目で実施してきた取組みから、在住外国人のニーズに応える形でスタート。また、日本語を学びたい在住外国人への支援を可能にするため、サポート人材の育成にも努めた。並行して、行政・任意団体等が連携を図り、それに付随する予算の確保や、日本語教室をはじめとする外国人サポート体制の整備をアドバイザーからのご意見をもとに行った。 新型コロナウイルス対策の緩和が進む中、再び在住外国人も増加傾向にある現状で、地域住民のニーズに対応した日本語教室と時代の流れに合わせたまちづくりを目指す。 ◆2年目より試みている日本語教室を一層拡充 ◆サポート人材の確保と育成のための講座の開催 ◆日本語教室の安定的な運営に向けた行政・企業・市民団体との連携した取組み ◆広報・周知活動の継続による地域への意識づけとまちづくり			
事業の対象期間	令和5年5月～令和6年3月			
前年度の実績 (2年目以降の団体のみ記載)	・1年目から継続している、外国人へのサポート人材の発掘と育成を目的とした講座を開催。1回2時間の講座を月2回、9月～12月の計8回実施した。12名の参加申込みがあり、延べ56名が参加。多文化共生の先進地より講師を招き、外国人とコミュニケーションを図るうえで、やさしい日本語とは何か、どんなサポート活動が必要か等を学んだ。今回の参加者からも3名が新たにサポーターとして加わり、前年度と合わせて9名が活動するに至った。 ・10月より新たな日本語教室を試行。(受講希望者9名)12月まで対面での教室を6回行い、交通事情の悪い1月・2月にはオンラインでの教室を4回試行した。コーディネーターが作成したカリキュラム等をもとに、サポーターが中心となって日本語学習支援を行っている。受講者からは「わかりやすい」と好評を得ている。 ・広報活動の一環として市の広報誌(2月)に、新庄市における在住外国人数や日本語教室について掲載。行政関係機関との連携により、記事掲載につながった。			
担当コーディネーター	氏名	所属	職名	担当する役割
	鶴沢 忍	NPO法人芸術文化振興市民ネット新庄	職員	関係機関との連絡・調整
	今泉 智子	山形大学学士課程基盤教育院	准教授	日本語教室の内容検討
	高橋 範行	—	—	日本語教室における学習内容の検討
担当アドバイザー	氏名	所属	職名	継続・新規の別
	伊東祐郎	国際教養大学専門職大学院	特任教授	継続・新規(3年目)
	内海由美子	山形大学学士課程基盤教育院	教授	継続・新規(3年目)
	幕田順子	(一社)ふくしま多言語フォーラム	理事	継続・新規(3年目)

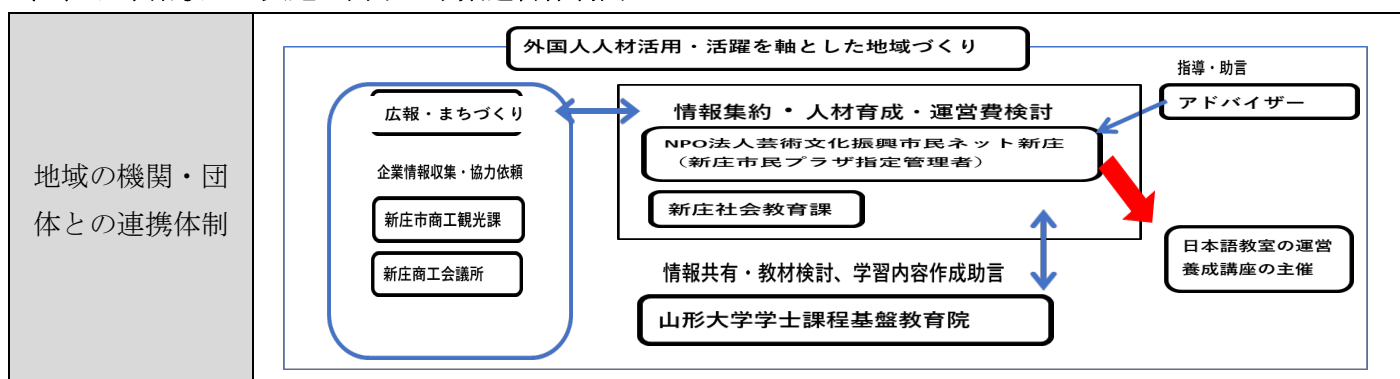
3. 日本語教室の設置に向けた検討体制

(1) 地域における日本語教育の実施に向けた検討体制



所属（担当課）	職名	担当者名
新庄市社会教育課	課長	伊藤 幸枝
新庄市社会教育課ふるさと歴史センター	所長	八楯 幸紀
新庄市社会教育課	主任	武田 信也
新庄市社会教育課	主任	柏倉 正人
新庄市総合政策課	主任	三宅 大輔
新庄市商工観光課	主事	鈴木 悠
新庄商工会議所	係長	伊藤 允
新庄商工会議所	職員	加藤 俊夫
山形大学学士課程基盤教育院	准教授	今泉 智子
NPO 法人芸術文化振興市民ネット新庄	職員	鶴沢 忍
NPO 法人芸術文化振興市民ネット新庄	職員	中嶋 香純

（２）日本語教室の実施に向けた事業運営体制図



組織・団体・機関名	担当部局	職名	担当者名
新庄市社会教育課	-	総務主任	武田 信也
新庄市社会教育課	-	主任	柏倉 正人
新庄市商工観光課	企業立地・商工振興室	主事	鈴木 悠
新庄商工会議所	-	係長	伊藤 允
新庄商工会議所	-	職員	加藤 俊夫
山形大学学士課程基盤教育院	-	准教授	今泉 智子
NPO 法人芸術文化振興市民ネット新庄	事務局	職員	鶴沢 忍
NPO 法人芸術文化振興市民ネット新庄	事務局	職員	中嶋 香純

４．具体的な取組内容

（１）年間を通じた取組内容

年月	主な取組内容	コーディネーターの主な活動	アドバイザーの来訪
令和５年 ４月	日本語教室①	・日本語教室の学習内容の検討	
令和５年 ５月	日本語教室②③	・日本語教室準備運営	

令和 5 年 6 月	日本語教室④⑤ キックオフ会議	・日本語教室準備運営 ・キックオフ会議に向けた日程調整 ・交流会準備	★事業計画について検討
令和 5 年 7 月	日本語教室⑥ 交流会	・日本語教室準備運営 ・オリエンテーション参加 ・事業計画書提出 ・サポーター養成講座内容検討、講師依頼 ・交流会運営	
令和 5 年 8 月	日本語教室⑦⑧ サポーター養成講座募集	・日本語教室準備運営 ・養成講座周知活動、内容調整 ・アドバイザー会議日程調整	
令和 5 年 9 月	日本語教室⑨⑩ サポーター養成講座①② アドバイザー会議	・日本語教室準備運営 ・講座運営 ・会議運営	★日本語教室の運営体制について検討・助言
令和 5 年 10 月	日本語教室⑪⑫ サポーター養成講座③④	・日本語教室準備運営 ・講座運営 ・情報交換会参加	★日本語教室の学習内容・支援方法について助言
令和 5 年 11 月	日本語教室⑬⑭ サポーター養成講座⑤⑥	・日本語教室準備運営 ・講座運営 ・オンライン教室の準備	
令和 5 年 12 月	日本語教室⑮⑯ サポーター養成講座⑦⑧⑨ 学習支援者向オンライン講習	・日本語教室準備運営 ・講座運営 ・オンライン講習開催	
令和 6 年 1 月	・日本語教室（オンライン）⑰⑱	・日本語教室（オンライン）準備運営 ・関係者全体会議日程調整	
令和 6 年 2 月	・日本語教室（オンライン）⑲⑳ ・関係者全体会議	・日本語教室（オンライン）準備運営 ・関係者全体会議開催 ・事業報告書作成	★これまでの取り組みとボランティアグループの活動および今後の日本語教室への助言
令和 6 年 3 月	・事業報告	・事業報告書提出	

（２）立ち上げた日本語教室の詳細

教室の名称	日本語教室		
外国人参加者について	[国籍] タイ 9 名、インドネシア 8 名、ベトナム 5 名、フィリピン 3 名、ネパール 1 名、 バングラディシュ 1 名 [属性] 来日して日が浅い方（技能実習生等）が主な対象		
参加者数 (内 外国人 数)	受講者 27 名 支援者 8 名 (日本語指導者 0 名、サポーター 0 名)		
開催時間数	総時間 40 時間	内訳	2 時間 × 20 回
目標	日常生活に必要な日本語の理解と習得		

実施内容							
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	内容	授業概要	支援者数
1	2023 年 4 月 23 日(日) 10:00~12:00	2	新庄市民 プラザ	14	オリエンテーシ ョン	・主催者あいさつ ・日本語で自己紹介 ・和菓子作り	日本語指導者 1 名 サポーター7 名
2	2023 年 5 月 14 日(日) 10:00~12:00	2	新庄市民 プラザ	13	中級) おしゃべ りのたね 初級) 日本語こ れだけ 共通) 作文	中級) 自分の国の季節につ いて特長を説明 初級) 食べ物について	日本語指導者 1 名 サポーター7 名
3	2023 年 5 月 28 日(日) 10:00~12:00	2	新庄市民 プラザ	13	中級) おしゃべ りのたね 初級) 日本語こ れだけ 共通) 作文	中級) 自分の生活スタイル について説明 初級) 1 日のスケジュール について	日本語指導者 1 名 サポーター9 名
4	2023 年 6 月 11 日(日) 10:00~12:00	2	新庄市民 プラザ	14	中級) おしゃべ りのたね 初級) 日本語こ れだけ 共通) 作文	中級) 自分の好きなスポー ツについて説明 初級) 1 日のスケジュール について	日本語指導者 1 名 サポーター6 名
5	2023 年 6 月 18 日(日) 10:00~12:00	2	新庄市民 プラザ	13	中級) おしゃべ りのたね 初級) 日本語こ れだけ 共通) 作文	中級) いろいろな職業の名 前、今の職業 初級) 家の近くに何がある か説明できる	日本語指導者 1 名 サポーター3 名
6	2023 年 7 月 2 日(日) 10:00~12:00	2	新庄市民 プラザ	15	中級) おしゃべ りのたね 初級) 日本語こ れだけ 共通) 作文	中級) 自分の国、今住んで いるところの説明 初級) 旅行について	日本語指導者 1 名 サポーター5 名
7	2023 年 8 月 6 日(日) 10:00~12:00	2	新庄市民 プラザ	11	中級) おしゃべ りのたね 初級) 日本語こ れだけ 共通) 作文	中級) 自分の国の祭りにつ いて説明 初級) 自分の国の行事につ いて	日本語指導者 1 名 サポーター2 名
8	2023 年 8 月 26 日(土) 10:00~12:00	2	新庄市民 プラザ	0	共通) 新庄まつ りについて	共通) 新庄まつりを実際に 体験し歴史を知る	日本語指導者 1 名 サポーター3 名
9	2023 年 9 月 3 日(日) 10:00~12:00	2	新庄市民 プラザ	17	中級) おしゃべ りのたね 初級) 日本語こ れだけ 共通) 作文	中級) 携帯電話の活用方法 について 初級) 今どこに住んでいる か説明	日本語指導者 1 名 サポーター6 名
10	2023 年 9 月 18 日(月) 10:00~12:00	2	新庄市民 プラザ	12	中級) おしゃべ りのたね 初級) 日本語こ れだけ 共通) 作文	中級) 大変だった体験を説 明 初級) お金があったら	日本語指導者 1 名 サポーター7 名
11	2023 年 10 月 8 日(日) 10:00~12:00	2	新庄市民 プラザ	19	中級) おしゃべ りのたね 初級) 日本語こ れだけ 共通) 作文	中級) ごみの分別について 初級) 食べ物について	日本語指導者 1 名 サポーター6 名

12	2023年 10月15日 (日) 10:00~12:00	2	新庄市民 プラザ	19	中級) おしゃべりのたね 初級) 日本語これだけ 共通) 作文	中級) 日本と母国のジェスチャーの違いについて 初級) 日本語はおもしろいか	日本語指導者 1名 サポーター6名
13	2023年 11月19日 (日) 10:00~12:00	2	新庄市民 プラザ	16	中級) おしゃべりのたね 初級) 日本語これだけ 共通) 作文	中級) 料理を食べる・つくるについて 初級) 自宅からスーパーまで説明	日本語指導者 1名 サポーター7名
14	2023年 11月26日 (日) 10:00~12:00	2	新庄市民 プラザ	19	中級) おしゃべりのたね 初級) 日本語これだけ 共通) 作文	中級) 日本でのお金のやりくりについて 初級) 今どこに行きたいか	日本語指導者 1名 サポーター7名
15	2023年 12月3日(日) 10:00~12:00	2	新庄市民 プラザ	19	共通) 新庄について	共通) 新庄市で撮影してきた写真をもとに話をする	日本語指導者 1名 サポーター4名
16	2023年 12月24日 (日) 10:00~12:00	2	新庄市民 プラザ	17	共通) 日本語を使ったゲーム	共通) 日本語を使って全員でゲーム・太巻きづくりに挑戦	日本語指導者 1名 サポーター6名
17	2024年 1月14日(日) 10:00~12:00	2	オンライ ン	15	中級) ワークシート 初級) 日本語これだけ 共通) 作文	中級) 自分のたからものについて 初級) どんな音楽が好きか	日本語指導者 1名 サポーター6名
18	2024年 1月21日(日) 10:00~12:00	2	オンライ ン	12	中級) ワークシート 初級) 日本語これだけ 共通) 作文	中級) 自分がもらった・あげたプレゼントについて 初級) 好きなもの・好きな理由について	日本語指導者 1名 サポーター6名
19	2024年 2月11日(日) 10:00~12:00	2	オンライ ン	10	中級) ワークシート 初級) 日本語これだけ 共通) 作文	中級) 新庄のおすすめの場所について 初級) 体の調子について	日本語指導者 1名 サポーター4名
20	2024年 2月18日(日) 10:00~12:00	2	オンライ ン	11	中級) ワークシート 初級) 日本語これだけ 共通) 作文	中級) 新庄市でよく買い物に行く場所 初級) 体の部位について	日本語指導者 1名 サポーター8名

【主な活動】



5/14 日本語教室（中級クラス）の様子



10/8 日本語教室（初級クラス）の様子



12/24 チーム対抗で日本語のしりとりを行った様子

教室の立ち上げに係る問題とその対応策	問題) 受講生の人数に対し、指導者・ボランティアサポーターの人数が少ない 対応策) 地元の高校に働きかけ、国際交流に興味のある生徒もボランティアサポーターとして参加を依頼。またオンライン教室の際は、関連機関を通じ、県内各地からボランティアサポーターとして協力を依頼した。
--------------------	---

(3) その他関連する取組

取組名称	実施期間	内容
サポーター養成講座	令和5年9月～12月（全9回）	日本語教育に関するサポーターの発掘・育成、多文化共生に対する意識づけを目的に継続開催。 【内容】（全9回、1回2時間） 第1回 身近な多文化共生を考える（担当：佐藤幸） 第2回 日本で働く外国人社員の苦勞・戸惑いを知る（担当：仁科浩美） 第3回 学んだ日本語どう活かす？（担当：余語美香） 第4回 やさしい日本語（担当：今泉智子） 第5回 日本語学習支援をしてみよう①（担当：今泉智子） 第6回 日本語教室参加（実践） 第7回 日本語学習支援をしてみよう②（担当：今泉智子） 第8回 特別講演 ことばの支援から考えるこれからの多文化共生（担当：伊東祐郎） 第9回 多文化社会へ向けて市民ひとりひとりができること（担当：内海由美子）
外国人交流会	令和5年7月16日（日）	地元の名産であるさくらんぼを通じて、地域の農家さんや日本人住民とコミュニケーションをとったり、参加者同士で昼食を作ったりして外国人同士の親睦を深めた。
サポーターのためのオンライン講習会	令和6年1月8日（月）	オンラインでの教室をはじめるにあたり、学習支援内容や各ルームに移動する方法等を講習、確認を行う。

【主な活動】



サポーター養成講座
第5回講座の様子



サポーター養成講座
第8回特別講演の様子



さくらんぼ祭り交流会の様子

5. 今年度事業全体について

進捗状況	・日本語教室を本格的にスタートさせた。また、1月2月には冬期ということもあり、オンラインでの教室を開催。 ・日本語学習支援をはじめとするボランティアサポーターの養成講座を継続的に開催。 ・オンライン教室開催にあたり、サポーター向けのオンライン講習を開催。 ・住民同士のコミュニケーションを図るため交流会を開催。
事業推進にあたり問題点と対応策	・日本語教室への参加希望が予想よりも多く、指導者・ボランティアサポーターの人材不足を実感。地元の高校やオンライン教室の際に県内の経験者に協力いただく。 ・サポーター養成講座への参加が少なかったため、再度研修という形で現役のボランティアサポーターに参加を促す。
成果	・関係各所の協力もあり、日本語教室を滞りなく終了できた。 ・これまでの事業の成果もあり、日本語教室への申込が大幅に増えた。 ・オンラインでの教室を開催。市外からのボランティアサポーター参加もあり、交流や経験につながった。

地域の関係者との連携による効果	・関係者の働きかけもあり、教室への申込者が増加。また、年度半ばに技能実習生を受け入れる企業からも問い合わせがあり、要所要所で周知していると感じる。 ・教室のボランティアサポーターの不足に伴い、関係者を通じて市外の方にも声がけを行い、不足を解消のほか、新庄市での取組を広げることにつながった。
コーディネーターの主な活動	①体制整備、関係者会議等の開催のための調整(6H) ②人材育成のための講座開催準備および運営(33H) ③日本語教室開設及び運営のための調整、学習内容の検討(25H) ④教材作成に向けた調整(20H) ⑤その他(9H) (具体的な内容：交流会起案、オンライン講習準備等)
アドバイザーの主な助言	・在住日本人と在住外国人は対等な関係であること、相互理解が大切 ・新庄市の目指す日本語教室は多文化共生社会へとつながっていくこと ・ボランティア、支援は無理をせず楽しみながら取組む ・教育委員会をもっと巻き込む ・広報活動は根気強く継続していく
今後の課題	・日本語教室の安定的な運営 ・学習支援をはじめとするサポーターの充実 ・最上地域全体を巻き込んだ取組 ・外国人労働者を受け入れる企業と市内の管理団体との連携
今後の予定	(1) 今後の日本語教育事業の展開について ①日本語教室の展開 ・これまで取組んできた教室を維持・継続していく。 ②日本語教室の実施主体と行政の関与について ・本事業を機に連携した各機関については、今後も継続したやり取りを行いながらまちづくりに努める。 ③財源の確保について ・現状の新庄市からの負担金の他、日本語教室や国際交流事業への取組みが認められたことにより、最上地域全体で取組む協議会からの支援が確定。 (2) 今後の予定(取組等) ・日本語教室をはじめ、日本語学習支援サポーターの人材発掘・育成を継続していく。 ・関係機関と協力しながら、行政や企業、地元住民への理解促進のため、広報活動や交流会等を開催していく。

本件担当： NPO 法人芸術文化振興市民ネット新庄